



実現

人工鼻の助成金申し入れ

喉頭癌で、声帯を摘出した方々が、人工鼻を活用することで声をとり戻し社会復帰をめざすNPO法人悠声会鈴木会長と、杉並代表者



(故中村賢一氏)と共に田中杉並区長に、申し入れをしました。人工鼻は、消耗品で毎月2~3万円かかり負担が大きいため、私は予算特別委員会において人工鼻を助成し、仕事を続けられる体制を作るべきと強く訴え、30年度で予算化することが決まりました。

実現

待望の災害時応援協定締結に

熊本地震では、市の罹災証明書が間に合わず、行政書士が協力し、復興を加速する姿を視察。杉並区でも事前に協同関係を構築することが大切と強く訴え、東京行政書士会杉並支



部と災害時応援協定を締結。これにより、行政書士が、災害時の被災者支援制度や給付金の申請全般を各家庭に訪問し進めます。

実現

フードドライブの常設窓口を開設

食品ロスをなくすため、賞味期限が間近な食べ物を集めるフードドライブが、30年度からは、区役所、杉並清掃事務所、方南支所、環境活動杉並センターが常設窓口となります。集められた食品は、区内の社会福祉法人や、子供食堂に利用されます。ちなみに29年度は、149kg、700点の食品が集まりました。

